

生産性を向上させるオフィスづくり

ジョーンズ ラング ラサール株式会社(JLL)(溝上 裕二)

ワークプレイスコンサルティング分野、デザイン分野などの多様な知を企画・戦略段階から集い醸成させることで「生産性を向上させるオフィスづくり」を構築した。従来のオフィスは、発注者要望に沿って単に必要な家具を並べ、空きエリアに植栽を置くといったものが多く、オフィスづくりは定性的な評価と検証に留まっていた。働き方改革・Well-being実践のため、オフィス計画・設計・施工とチェンジマネジメントやイベント計画との両輪でオフィスを構築した結果、70%以上の社員が「オフィスが生産性向上に寄与」と回答し、生産性を向上させる“場”の構築を達成した。

総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

JLL東京オフィスを「Future of Work」の実験・検証の場とし、短期的にはハイブリッドワークに対応した快適な環境を構築する。長期的には、生産性向上とウェルビーイングを実現するモデルとして社会に展開し、日本全体の生産性向上に寄与する。

ビジョン達成のための課題

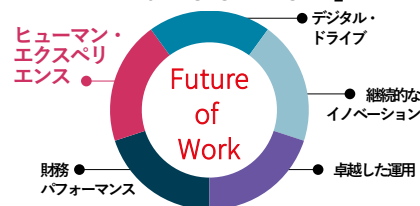
的確な知見を集めるには明確なゴール設定が必要であり、オープンイノベーションマインドの推進と、関係者を一方向に導く総合マネジメント求められる。また、オフィスづくりを「総合芸術」と捉え、コストではなく「人づくりの投資」として意識醸成することも重要となる。

「矩」を超えた場づくり / 得られた新たな価値

専門分野を越えた多様な知を結集し、生産性向上を目的としたオフィスづくりを実践した。プロジェクト目標の明確化と適切な知の集結により、出社率73%、満足度4.2(5点満点)、社員の7割以上が生産性向上を実感する場を構築した。

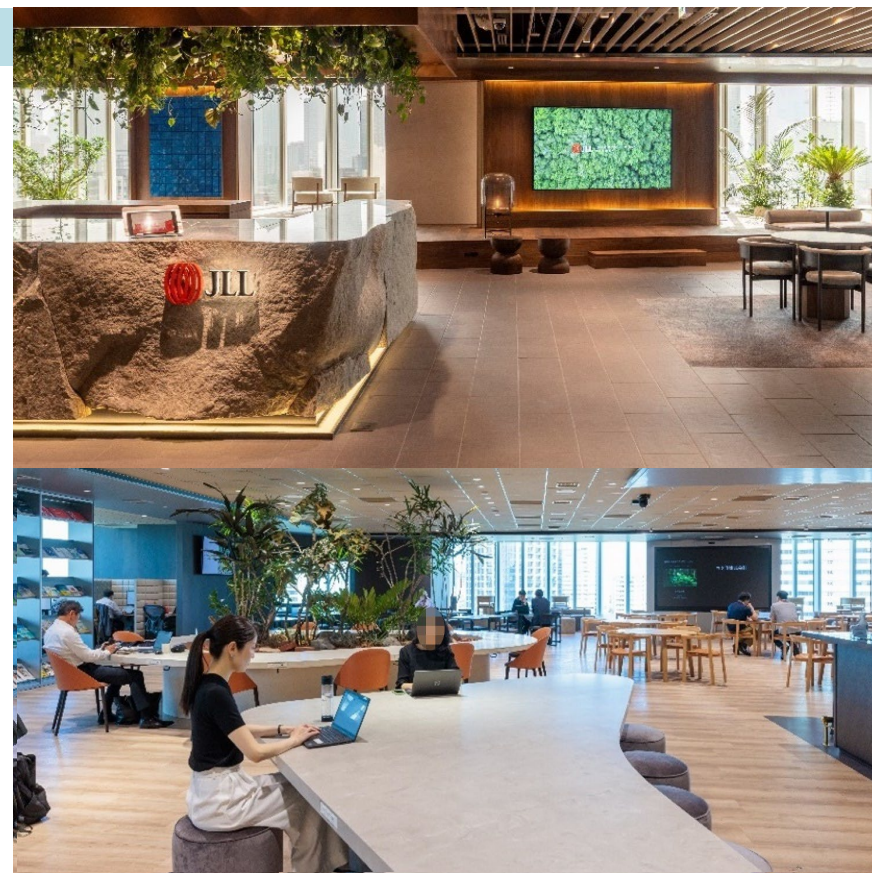
ワークプレイスコンセプト

JLLが提唱する働きかたの未来
「Future of Work」



Workplace for Thought Leadership

各分野を牽引するソートリーダーが集まり切磋琢磨し、新しい価値やサービスを生み出す実証実験の場



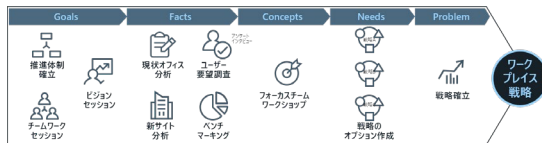
総合知を活用したウェルビーイングオフィスづくり

働きやすく、集まりたくなる「生産性を向上させるオフィスづくり」のハード・ソフトのノウハウ

総合知を活用したプロジェクトマネジメントで、オフィスづくりのハードとソフトを統合・醸成し、
オフィスを「人づくりの投資(利用者自らの行動変容と意識改革)の場」に変容・変革させることで生産性向上を達成！

社内の知見・ノウハウ（専門領域の枠にとらわれず、ゴールを設定して多様な知を持ち寄る）

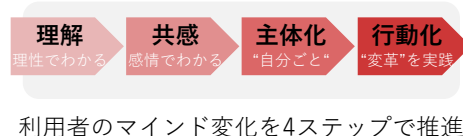
ワークプレイス戦略づくり



プロジェクトマネジメント



チェンジマネジメント



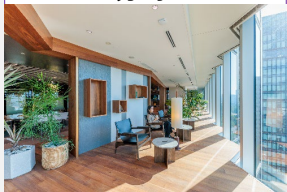
運用マネジメント



オフィスづくりのプロセス戦略づくり



インテリアデザイン分野



オフィス施工分野



植栽計画・運用分野



飲食分野



アート分野



イベント分野



外部の知見・ノウハウ（組織の「矩」を超え、多様な「知」が集う）

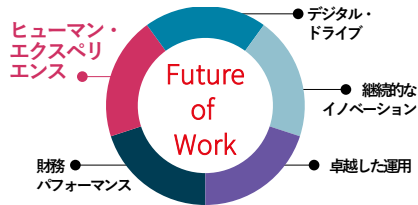
JLL東京オフィスの事例

総合知による「生産性を向上させるオフィスのモデル」の構築

- JLLが提唱する“Future of Work”の実験・実践、“One JLL”の達成、JLLブランドの浸透を目指したビジネスショーケースとしてのオフィス
- 各分野のThought Leaderが集まり、切磋琢磨してクライアントに最善のサービスを提供する場として、5つのコンセプトを具現化したオフィス
- 「公園」と「日本の伝統建築の解釈」という立地特性を生かした唯一無二のデザインコンセプトとホスピタリティに満ちたオペレーションにより、E V P（Employee Value Proposition）を高めた快適なハイブリッドワーク環境を実現
- 出社率設定56%に対し73%の実績、満足度4.2（5点満点）、70%以上の社員が「オフィスが生産性（＝効率化＋イノベーションの創造）向上に寄与」と回答

ワークプレイスコンセプト

JLLが提唱する働きかたの未来
「Future of Work」



Workplace for Thought Leadership

各分野を牽引するソートリーダーが集まり切磋琢磨し、新しい価値やサービスを生み出す実証実験の場

